

福祉

提案・意見

保育園の給食献立について

いただく献立表が、料理名だけではイメージつきにくいことがあります。

以前住んでいた自治体では、栄養素別に食材が記載されていました。そのため、子供にとってどんな料理、食材、調味料が望ましいのか、使って良いものなのか、参考にすることができました。また、朝晩の献立とも野菜や味付けがなるべく重ならないよう配慮することが可能でした。

食材や調味料がわかるような献立表をいただけると大変助かります。ご検討よろしくお願い致します。

回答

この度は伊勢市の保育所給食について貴重なご意見を賜りありがとうございます。ごぞいます。

伊勢市ではこども課が作成した献立表と食品群別に記載した食材一覧表を作成し、保育所へ送付しています。食材一覧表につきましては、保育所にてお渡しさせていただきますので、お声がけください。

なお、食材一覧表は食材のみの記載であり、調味料については今後検討をさせていただきますのでご了承ください。

今後とも保育行政にご理解賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

担当課

こども課（2017年9月回答） [9/23～9/29]

教育

提案・意見

厚生中学校のクラブ活動について

子どもが厚生中学校でお世話になっています。
学校の規則もしっかりしており、校風がとてもよいです。
ひとつ気になることがあります。
子どもがクラブ活動をしています。ほとんど、土曜日、日曜日に練習もしくは試合があります。
クラブ活動ですので、活動中は集中して厳しくしてもらってよいのですが、休みがないのは、成長期の子供にとってつらいことです。
担当の先生も熱心で、とても良いのですが、先生自身の休みもありません。全国的に問題となっており、週に1回は生徒も先生も休みがとれるようにしてもらえないでしょうか。休息することで、生徒は勉強にもクラブ活動にも集中できると思いますし、先生も同じことだと思います。
伊勢市の中学校でどのクラブにも週1回は休みをとれるように考えてもらえないでしょうか。よろしくお願いします。

回答

このたびは貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。子どものみならず、教職員へのご配慮までいただいたことに感謝を申し上げます。
中学校における部活動は、スポーツや文化および科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養、互いに協力し合って友情を深めるといった好ましい人間関係の形成等を目標にしており、学校教育の一環として行われています。部活動に参加する子どもたちは、それぞれが異なった目的や目標をもっていますが、スポーツを続けていく中で「上手になりたい」、「勝ちたい」という思いは誰でも持っていると思われれます。また、そのような子どもたちの思いに応えようと指導者の中には「上達させたい」、「勝たせたい」という願いが生じます。その結果、時には過度な練習につながることもあります。しかし、バランスのとれた生活と成長の確保のことを考えると、ご指摘にありますように、適切な休養日の設定が大切であると思われれます。伊勢市教育委員会としては、学校長をとおして、学校生活等への影響を考慮した練習時間や適切な休養日が設定されるように指導をしてまいりたいと思います。
今後とも、子どもたちの育ちを温かく見守っていただき、ご支援・ご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

担当課

学校教育課（2017年9月回答） [9/23~9/29]

教育

提案・意見

厚生中学校

体育祭・運動会の音や歓声や競技の始めのピストルの音がうるさい隣が商業施設なので静かにしてください県営競技場でしてください

回答

運動会・体育祭開催時の音や歓声などに関わって、不快な思いをされたということで申し訳ありません。

運動会・体育祭については、「運動に親しむ態度を育てる」「基本的な集団行動を習得させる」「責任感や連帯感を育てる」ことなどを目的として実施し、子どもたちが成長した姿を保護者や地域の方々に見ていただく貴重な機会と捉えております。

各家庭における生活時間や生活様式が多様化し、感じ方も様々であるという認識のもと、運動会・体育祭の実施をしていくことも大切であると考えております。放送の音量が適切であるかなど点検を行うよう周知いたします。

県営競技場での開催については、保護者や地域の方々にたくさん参観していただけるようにということ、また、練習している場所での開催が児童・生徒にとっても適切であることなどから、運動会・体育祭を各学校で実施しております。

なにとぞご理解をいただきますようお願いいたします。

担当課

学校教育課（2017年9月回答）〔9/23～9/29〕

その他

提案・意見

公務員の専門職はブラック

私の知人で、専門職としてつとめている子がいるが、育児休暇に理解がない職場だとなげいていた。管理職が自分の妻や自分自身が育児休暇制度がない時代に働いているせいか、部下の当該制度に理解がたりないらしい。専門職はあまり異動がないせいか、申請しづらい状況を生みだしがちであるから、本来管理職が率先して理解を示さないと、いけないのだが。今はもう2017年なんですけどね。こういう問題は、職員課や組合が率先してやってほしい。社員のモチベーションが下がり行政サービス低下による損失を被るのは我々市民である。この声を職員の声と捉えて、役所内の当該制度への理解の為の説明会をすべきでは？ワークライフバランスを実現して下さい。あと専門職といえど、ある程度の異動は必要。じゃないと、同じ人が仕事をやりつづけたら改善はうまれない。外部登用などする、民間から出向を受け入れる、又は民間へ出向するとかしたらどうでしょうか？

回答

ワークライフバランスの推進は、働くことを希望する者が、その希望に応じた働き方を実現できるようにすることであり、次の社会を担う子どもたちが健やかに生まれ育てられる環境整備のために重要であると考えております。

特に、地方公共団体は子育て・教育・介護・まちづくり等、住民生活に密接に関わっていることから、従来の定型化された仕組みに対し、より柔軟な発想が求められており、ワークライフバランスの実現は行政運営上の重要な課題であると考えております。

ご指摘いただきましたように、育児休業などの子育て支援制度や介護支援制度などの取得促進にあたっては、職場の制度への理解が重要でありますことから、管理職を始めとして順次研修を実施しております。今後こうした研修等を通じて制度への理解を図っていきたいと考えております。

また、人事異動につきましては、職員の適性や在籍年数等を考慮し、適材適所に努めていきたいと考えておりますのでご理解いただきますようお願いいたします。

担当課

職員課（2017年9月回答） [9/23～9/29]

その他

提案・意見

伊勢市病院について

伊勢市病院の経営状況は黒字と聞いているのですが税金はどれくらい入っているのですか

回答

平素は、伊勢市病院事業に、ご理解、ご協力いただきありがとうございます。

平成28年度決算では、税金や地方交付税を主な収入とする市の一般会計から、11億7,381万7千円を病院事業会計へ繰り入れました。このうち、6億4,381万7千円については、総務省が定める基準に基づくもので、その経費の一部は地方交付税として国から交付されます。残りの5億3,000万円については、病院経営の安定化を図るために繰り入れを行いました。

今後とも、伊勢市病院事業に、ご理解、ご協力いただきますよう、よろしく申し上げます。

担当課

伊勢総合病院経営企画課（2017年9月回答） [9/23～9/29]